

A photograph of a woman with long dark hair, smiling broadly and holding a microphone. She is wearing a white shirt under a dark vest with a plaid pattern. To her left, a man in a dark suit is also smiling. They appear to be at a public event or presentation.

講演で「難民とラベリングすることで個性や持ち味が見えなくなる」と指摘した渡部カンコロンゴ清花さん（中央）  
＝13日午前、静岡市内

民への日本語支援のあり方などを考えた。日本に逃れた難民らの活躍機会創出に取り組むNPO法人WEgee（ウェルジー、東京都）の渡部カンショロンゴ清花代表＝本郷出身＝が講演した。

渡部さんは、日本の難民認定率の低さに触れた上で、「難民」という単語が与えるネガティブな印象を指摘。さまざまな個性を持つた「人材」として捉え、企業とのマッチングなどを展開していると紹介した。「難民は難民として日本で生きていい



ボランティア活動に取り組み表彰を受ける高校生  
=11日、静岡市駿河区のグランシップ

## 多文化共生策探る

県国際交流協会は13日、日本語ボランティアセミナーを静岡市内で開いた。講演や対話を通じて、多文化共生社会の実現や外国人住民

## 民への日本語 り方などを考 日本に逃れ

諸國

かなければいけないのか」と問題提起。「多文化共生を行政用語にしてはいけない」とも述べ、市民一人一人が主体的に考えて行動する大切さを伝えた。

県内各地のボランティアや学生らが参加。日本語教育の動向を解説する講話や、日本語支援などをテーマにした分科会もあった。(社会部・佐藤章弘)

村井裕  
美濃部 雄人

静岡市の自転車の歴史  
会議=11日、静岡市役所

# 「パークラン」じわり浸

静岡市駿河区の広野海岸公園で毎週土曜の朝に開かれるイベント「パークラン」の人気が高まっている。誰もが朝8時から好きなペースで5キロのウォーキングやランニングを楽しむという気軽さが魅力。関係者は「参加者の輪を広げ、地域活性につなげたい」と期待する。

中3年の遠藤和輝さん  
(15)は、受験勉強中に体力を落とさないことが目標で「高校でも陸

た。 昨年中に計5回開催  
し、延べ300人近く  
が参加。リピーター

「続していきたい」と言五  
（社会部・岩下勝哉）

められている会館の運営について検討する会議を、静岡市葵区の同会館で開いた。入居困

が提出した経営改善  
画の中間報告に対する  
同課の見解について、  
明を受けた。

点を守つてほしい」との意見が挙がった。同会館は1月末に県教委側の指摘を踏えた新たな報告書を出す予定。

提まも。な

加者  
草集